

幼児のしつけに関する研究

—大邱市（韓国）の母親を中心に—

○朴 永熙 韓 在淑 岡 佐智子 吉田洋子

（大谷女子大学 韓国嶺南大学 大谷女子大学 常磐会短期大学）

はじめに

共同研究実施に至る経過を述べて研究の特徴を明らかにしたい。

43 回大会以来、中国上海と大阪の幼児のしつけについて調査結果を報告してきた。53 回の本学会では「食事からみた韓国の家庭教育」について韓国の研究者との共同調査結果を報告した。中国、韓国、日本は東アジアに属し、歴史的文化的にも関わりが深い。今世紀はアジアの時代と言われるように中国・韓国の経済発展に対する熱意は高く、学校教育に対する過熱ぶりは日本を凌ぐほどの勢いを示し、子どもの抱えている状況に類似点がみられることが報告されている。このような状況下、家庭教育の重要性を認識し、親の子どもへの接し方や親自らの生活態度、さらに家庭教育の実態を食生活に対する意識や実態について共同研究を行うことで合意している。以上の経過は本調査の内容や分析の視点を規定すると考える。今回は韓国大邱・慶尚北道での調査結果の一部を報告する。

目的：韓国大邱・慶尚北道下の家庭での幼児のしつけの実態について調査する。

方法：1) 調査対象：大邱・慶尚北道にある幼稚園とノーリバン（遊び場、子どもを預かる場所）に通う男女児の保護者。2) 調査時期：2001年6月20日から8月30日 3) 調査方法：アンケート用紙を幼稚園、遊び場の保育者が保護者に渡し、一定期間後に回収した。4) 有功回答数：配布資料は650部で500部を回収し統計資料とした。5) 調査項目と測定法：

(A) 一般的な家庭生活状況 21項目 (B) 子どもへの接し方と親自身の態度 30項目 (C) 子どもの将来への期待 20項目である。そのうち (B) (C) については5段階評価にて調査を行った。

結果および考察：回答者は母親が86.6%、両親で6.4%、父親が6.4%、その他が0.6%であった。親の年齢は30代が中心で、父親の68.9%、母親の82.7%が30代である。母親は専業主婦が66.4%で、残りの33.6%の就労状況は一般事務職が14.2%、管理職が10.0%となっている。現代の若い女性の社会活動状況と比較すると就業率は低調であるが、子どもの幼児期

は女性が職業を辞めて子どもの養育に専念している姿の現われであろう。家庭内での子どもの世話では、主に母親が54.2%、次いで両親で35.8%、父親は0.4%となっている。(表1)

表1 父母の家庭生活役割（子どもの世話）

母親	266人	(54.2%)
両親	176人	(35.8%)
同居の祖母	24人	(4.9%)
父親	2人	(0.4%)
家族全員	19人	(3.9%)
その他	4人	(0.8%)

子どものしつけに関する質問を要因分析した。その類型を表2に示した。子どもへの接し方や親自身の態度について30の質問項目のうち関連が少ない3項目を除き、27項目を7種の因子で分類した。愛情的な態度、受容的な態度、自律的な態度、積極的な態度、独立的な態度、肯定的な態度、父の協力的な態度と因子名を与えた。分析結果を合わせて示した。7つの分類の相関関係分析結果は表3に示してある。その結果、大部分の要因間に有意な差が見られた。特に自律的な態度が高いほうが受容的な態度と愛情的な態度(0.36)が高い($p<0.01$)。積極的な態度が高いと愛情的な態度が高く(0.42)、独立的な態度が高いほうが自律的な態度が高い(0.39)($p<0.1$)。肯定的な態度が高いほうが積極的な態度が高い(0.40)。また父の協力的な態度が高いほうが、愛情的な態度(0.43)と積極的な態度が高くなり、親の夫婦生活満足度が大きいほうが子どもに対する満足度が大きい(0.36)ことが分かった。 $(p<0.1)$ 。

夫婦間の家庭生活満足度と子育てへの満足度の結果を表4示した。夫婦の家庭生活満足度は満足が68.8%、普通が28.8%、不満足が2.4%でおおむね満足しているといえる。子どもに対しては満足が73.3%、普通が25.3%、不満が1.0%で子どもに対してもほとんど満足している。特に夫婦の満足度が高いほど、子どもに対する満足度が高くなり(78.4%)、夫婦満足度が低いほど子どもに対する満足度が低いことが分かった。

表2 子どもへの接し方の態度類型

因子番号	項目	Mean±SD	因子名
I	19 子供との約束を守る	3.99±0.86	愛情的な態度
	20 子供の質問に根気強く応じてる	3.91±0.85	
	21 頭ごなしに叱ったりしない	3.62±0.85	
	22 子供の要求や気持ちを十分理解する	4.01±0.85	
II	8 困っている友達を助けるように指導	4.34±0.77	受容的な態度
	10 紙屑などをポイ捨てしないように指導	4.64±0.66	
	11 花や動物を愛するよう指導	4.49±0.73	
	12 弱いものをいじめないように指導	4.62±0.71	
III	4 挨拶するように指導	4.30±0.83	自律的な態度
	5 譲歩するように指導	4.49±0.69	
	6 自分で片つけるように指導	4.36±0.76	
	7 迷惑をかけたとき「ごめんなさい」と言えるように指導	4.56±0.76	
IV	9 物を大切にするように指導	4.27±0.81	積極的な態度
	17 親戚以外の他の家族との交流をもつようにする	3.41±1.13	
	18 子供にとってしんどい経験を生活の中に取り入れる	3.47±1.04	
	25 地役活動に積極的に参加する	2.63±1.10	
V	26 幼稚園の行事に積極的に参加する	3.02±1.16	独立的な態度
	27 会合をする時準備や後片付けを率先している	3.46±0.98	
	1 子供が自分でできることは自分でするように気をつける	3.68±1.06	
	3 家族のしごとを手伝うようにする	3.28±1.17	
VI	13 服の着脱を子供自身にまかせている	3.68±1.04	肯定的な態度
	15 集団で遊ぶ機会に参加するように勧める	4.19±0.83	
VII	16 自然と接触する機会をつつてあげる	4.04±0.86	父の協力的な態度
	28 子育てを父母が協力している	4.03±0.94	
	29 子育てに関して相談できる相手がいる	3.79±1.05	
	30 子育てには配偶者が積極的である	4.27±0.86	

表3 子どもへの接し方による相関関係分析

	愛情的な態度	自律的な態度	受容的な態度	積極的な態度	独立的な態度	肯定的な態度	父母の協力的な態度	子供に対する満足度	夫婦生活満足度
愛情的な態度	1.00								
自律的な態度	0.29**	1.00							
受容的な態度	0.36**	0.57**	1.00						
積極的な態度	0.42**	0.26**	0.26**	1.00					
独立的な態度	0.29**	0.23**	0.39**	0.32**	1.00				
肯定的な態度	0.28**	0.34**	0.32**	0.40**	0.27**	1.00			
父母の協力的な態度	0.43**	0.23**	0.30**	0.37**	0.23**	0.31**	1.00		
子供に対する満足度	0.16**	0.17**	0.10*	0.06	0.02	0.15**	0.24**	1.00	
夫婦生活満足度	0.20**	0.13**	0.17*	0.07	0.12**	0.08	0.18**	0.36**	1.00

*p<0.5 **p<.01

表4 夫婦の家庭生活満足度と子どもへの満足度

夫婦満足度 \ 子女満足度	子女満足度			計	X ²
	不満足	普通	満足		
不満足	2(40.0)	5(4.1)	6(1.7)	13(2.7)	83.98***
普通	2(40.0)	66(53.7)	71(19.9)	139(28.7)	
満足	1(20.0)	52(42.3)	280(78.4)	333(68.7)	
計	5(100.0)	123(100.0)	357(100.0)	435(100.0)	

***p<.001